

平成21年度 第1回
第3期徳山地区地域審議会
会 議 録

日 時：平成21年6月29日（月）

場 所：周南市市民館 大会議室1

【会 議 次 第】

1 開会

2 市民憲章唱和

3 あいさつ

4 議事

(1) 「周南市まちづくり総合計画 後期基本計画(素案)」について

(2) 今後の審議会の運営について

5 閉会

平成21年度第1回 第3期徳山地区地域審議会 会議録

日 時 平成21年6月29日(月) 午後2時から
場 所 周南市市民館 大会議室1
出席者 ・委員 10名 (欠席5名)
藤井 徳男、松村 千昭、石田 睦子、木船 淳雄、福原 和子
中村 俊孝、國富 晃、松原 邦夫、大寺 和美、野村 静男
・事務局 5名
手山企画総務部長、中村企画課長、原田課長補佐、亀割係長、福田主査
資 料 周南市まちづくり総合計画 後期基本計画(素案)
後期基本計画(素案)体系図

会 議 議 事 録

1 開 会

2 市民憲章唱和

(全員で市民憲章を唱和)

3 あいさつ(企画総務部長)

手山企画総務部長 この4月より市役所は大幅に組織改編し、3部10課を削減しました。本日も協議いただきまちづくり総合計画関係についても、所管を総合政策部から企画総務部に変更したところです。

周南市まちづくり総合計画は、周南市における最上位の計画であり、後期基本計画は総合計画10年間の後半、22年度から5ヵ年の計画です。本日は、委員の皆様方へ、ご意見、ご提案または欠落している視点等ご提言いただき、まちづくり総合計画の審議の中で取り入れさせていただきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

4 議 事

(1)「周南市まちづくり総合計画 後期基本計画(素案)」について

議長 (1)周南市まちづくり総合計画後期基本計画(素案)について事務局の方から説明をお願いします。

事務局 《周南市まちづくり総合計画後期基本計画(素案)の内容を説明》

議長 ただいまの説明に関して、ご意見をお願いします。

委員 計画期間の基本方針の中に、選択と集中ということが記載されています。前期の計画においては未実施や検討中の施策が結構ありましたが、後期の計画においては、

どのような基本方針、視点で施策の決定をされるのかご説明をお願いします。

教育環境の整備・充実について、学校施設の耐震化の早期実施を期待していますが、その辺はどのようにお考えでしょうか。

学校給食において栄養バランスのとれた安心・安全な給食の提供が求められているという記載がありますが、これは基本的な部分で、今更に取り上げることもないのではないかと思います。

男女共同参画社会の推進について、市の審議会等における女性委員の占める割合が、平成21年4月1日現在25.1%で目標の40%を下回っているとなっておりますが、まず、行政サイドで女性の管理職を大幅に増加させるなど前向きな対応を市民に示していただきたいと思います。

アンケートについて、わからないとか無回答の比率が非常に高いことから、いかに市民に検討内容を明確にして、理解が得られるようにしていくかといったことも課題ではないかと感じました。

事務局 選択と集中についてですが、限られた財源の中で何を優先的に進めていくかという位置づけが大切だと考えています。具体的には、実施計画において実施する事業を示し、それを財政状況等勘案し1年ごとに見直しながら進めていく予定です。

耐震化については、今、学校施設の耐震化というのは大変問題になっており、国においても最重点となっています。周南市も、今年度中にほとんどの学校施設の調査を終え、来年度以降工事に入るように予定しています。

委員 給食センターのことが問題になっていますが、私は、やはり食育の原点は、出されたものを感謝して食べる、この1点だと思っています。食育については、安心・安全な食材ということばかりが取り沙汰されて、そういった視点が欠けていると思います。

委員 危機管理の中の安心・安全に暮らせるまちづくりということで、交通安全の推進があがっています。交通事故については、高齢者の死亡事故が非常に多いということが言われていますが、宇部の方では、警察、その他高齢者の人が一体となって、各高齢者宅を訪問しながら事故防止策を訴えていくということが地道に展開されていて効果があがっていると聞いています。高齢者が加害者や被害者になるような事故をなくしたいというのが私たちの念願ですが、交通安全対策については、特に重視してほしいと思います。

委員 私は、子育て支援に関わっている者として、前期基本計画の中で、休日夜間子ども救急センターが、徳山中央病院に開設されたことを大変評価しています。子育て支援にもっと力を入れていただき、「周南市は他の地域に自慢できる子育て支援をしている」と言えるような市にしていきたいと思います。

今、子どもたちの読書離れが進んでいます。本をたくさん読むことによって子どもは、ものを短絡的に考えない、何か行動をおこすときにちょっと踏みとどまっているんなことを考えてから行動におこすといったことを身につけることができると考えられます。

そういったことから考えても、やはり小中学校の図書館に出来る限り司書の方をおいていただきたいと思います。

生涯学習と地域コミュニティと両方とも大事なものですが、生涯学習にばかり傾倒してしまうと地域コミュニティがだんだん希薄になっていくように思います。地域コミュニティについては、より進化させ定着するような施策を考えて取り組んでいかないと崩壊するのではないかと危惧しています。

委員 障害者福祉の充実で、障害者が安心して暮らせるためのシステムづくりで、自立支援とか参画とか書いてありますが、障害者の方が一般に就職するのは大変難しい部分がありますので、自立支援については、切にお願いしたいと思います。

委員 給食センターの建設は、熊毛に2件建設するという事で聞いていますが、これで進んでいくのでしょうか。

大島地区では、小学生のお母さん方たちの間でもう5年したら学校がなくなるということがうわさになっていますが、その辺がどのようになっているのかお尋ねします。

先ほどの読書の件ですが、教育委員会の方から声を掛けてもらって親子で20分間読書をするといった方法を学校で指導してもらおうなど、私たち家族の方からもそういう提案をしていくようにしてはどうかと思います。

委員 体系図を見ると重点推進項目の中に重点プロジェクトと同列で中山間地域の振興というのが入っていますが、私は非常にいいことではないかと思っています。中山間地域は課題も非常に多いと思われるので、1から4まで掲げてあります重点施策に力を入れてやってほしいと思います。

委員 自治会連合会の合併について、市の方で強力に働きかけて統一をしていただきたいと思います。

委員 今回の後期基本計画の特徴は、中山間地域の振興ではないかと思いますので、中山間地域の振興というのを前に持ってきて、これをひとつの大きな目玉、新しいテーマとしてやるんですというぐらいにした方が、インパクトが強くていいのではないかと思います。

基幹プロジェクトと戦略プロジェクトということで、言葉の使い分けをされていますが、施策の中でどういうふうに違いがあるのでしょうか。

市民アンケートについて、徳山駅中心の市街地活性化は、重要度はそれほど高くないのに満足度が非常に低いという結果が出ていますが、市民の考えと、行政が取り組もうとしているビッグプロジェクトとの間にかい離があるのではないかと感じています。満足度が非常に低い、不満が多い原因や理由がどこにあるのかももう少し掘り下げて提示する必要があるのではないかと思います。

プロジェクト5の観光・交流立市の推進の項目について、後期も前期とあまり代わり映えがしないという感じがします。コンパクトシティ的な考え方、シニアにやさしいまちづくりというコンセプト、他の地域の市街地との差別化ということも感じられないと

ということで、あまり魅力ある中心市街地にはならないのではないかと印象がしています。それから、イベントの実施・誘致について、交流人口を増やすということですが、市として特徴のあるイベントをもう少し絞り込んで集中的に人とお金をかけていくべきではないかと思います。

プロジェクトの3の環境立市の推進の自然環境保護等の推進について、ツルの保護対策よりも、むしろ温暖化防止の、例えばエコライフの推進とか家庭における省エネの取組みの方が大事なのではないかと思います。

議長 教育の関係で、過疎、少子化で学校そのものが成立できないという地域がこれからだんだん増えていく訳ですが、地域対策上、学校の位置づけをどのようにするかということを考えて、合併や統合をしていかなければならないと思います。学校再配置計画策定協議会を設置し答申を受けたとの記載がありますが、どういう内容が答申されているのでしょうか。

耐震化の問題で、学校等の公共施設は避難場所になっていますが、耐震化の実施率はどの程度でしょうか。

食育や地産地消の問題では、地域の農業をどのように育てていくかということを考えて、給食メニューを考えていただきたいと思います。

観光においては、食がおそろそかになっていると思います。私は、郷土料理を作る会があってもいいのではないかと思います。また、動物園をもう少し活用し、例えば林忠彦賞というような全国に発信できる材料をもっているのも、それとタイアップできるようなイベント等、動物園を前面に出すようなイベントを考えていただければと思います。

委員 観光立市を周南市が掲げることはすばらしいことだと思いますが、今、動物園、文化会館、美術博物館の休館日はバラバラであり、ふるさと産品の店「こあ」は土日が休みということで、私は疑問を感じています。それから、周南市には、せっかくたくさんの方が来ても、お金を落としてもらおう場所もなく、その受け皿もできていません。郷土料理も、我がふるさとでの売りみたいなものもないので、そういったものを何とかみんなで作り上げていくということをしていかないと、観光立市には程遠いということになるのではないかと思います。

委員 美術館と動物園と「こあ」と、それぞれ管轄部署が違うから休みひとつとってもバラバラになっているということだと思いますので、縦割りで作られている施策に横串を刺すような部署が必要だと思います。

事務局 4月の機構改革で、遅ればせながら各分野に政策担当課を置き、定例的に集まり連携を図るようにしたところです。

観光については、徳山動物園から港までをひとつの軸にし、その中でいろんな活性化をするという考え方がひとつありますが、もうひとつ、将来を見据えてやっていくということも必要かと思っています。それらを地道にしていったときに、周南においても何十年後かに、他の地域に負けないような観光資源が出てくるのではないかと思います。

委員 プロジェクトがいくつか設定されていますが、例えば企業なんかですと、そういうような場合には、プロジェクトチームというのを結成して取り組みます。複数の部門に横断するようなものは、いろんなプロジェクトチームを作り、日常業務の遂行とあわせて横軸もたくさん通していただいたらいいのではないかと思います。

委員 周南市を全国にアピールするということについて、新幹線から見えるように駅の前に動物園のツヨシ君の写真の看板を出すとか、食の部分でも給島のふぐもすごく味がいいので大々的に宣伝していくとかすれば期待できると思います。まだまだ宣伝的な部分で欠けているのではないかと思います。

議長 もう少し市全体の観光を考えて、各地区が融和できるような観光ルートを開発していくべきではないかと思います。地域の情報を発信できる場所も設けていただきたいと思います。地域から発信できるようなツアーを計画してはいかがでしょうか。

委員 私は、田舎の方に休耕田を持っていまして、これらの除草に大変苦労していましたので、森林組合の方に掛け合って植林をしてもらうことにしました。国から補助があるので、10年間は除草を含めて安い費用で管理ができます。中山間地域の人手不足の状況の中で、田んぼを森に変えていくということもひとつの方策かと考えましたので、ご報告させていただきました。

委員 先ほどバスツアーの話がでましたが、例えば審議会のスタートに、全地区の審議委員がお互いの地区を見て回って実態を頭の中に入れた上で、それぞれの地域を審議するといったことをすれば何か副次的な効果があるのではないかという感じがしました。

事務局 先ほどご指摘のありましたアンケートについてですが、7ページにグラフ化をしているものは、自分自身にとっての満足度と重要度を表しているものです。「今後のまちづくりにおいて重要度が高いものは何ですか」という質問においては、圧倒的に徳山駅の中心市街地活性化が1位となっています。

議長 アンケートされた地域の比率はどうなっていますか。

事務局 全体で、3,059回収しています。内訳は、都市地域が2,027、都市周辺地域が583、中山間地域が400となっています。

議長 都市周辺地域というのは、どこを指すのですか。

事務局 都市的地域が、徳山、新南陽の富田、福川地域、周辺地域は、菊川とか、湯野、夜市、戸田といった地域、それ以外を中山間地域と位置づけています。

議長 そうするとパーセンテージであれば都市地域が一番多い訳ですね。

事務局 そうです。人口配分で、当初6,500人の方に配っています。

議長 アンケート回答率からみても8割以上は都市地域ですか。

委員 そうすると徳山駅が中心になるのは当たり前だと思います。

事務局 中山間地域でも、徳山駅周辺整備について満足度が低いとか、都市地域と似たような傾向が出ていますが、まちづくりの重要度としては、徳山駅周辺整備よりも医

療等がトップにあがっていてそれぞれ地域性が出ていると思います。

委員 今後の施策として、何を市民が重要と考えているかということを示すのであれば、そういったグラフを掲載された方がいいのではないかと思います。

議長 そろそろ時間的な問題もありますので、疑問点や、地域審議会としてこれだけは訴えてもらいたいというものがございましたらお願いします。

委員 魅力ある中心市街地の再生・充実の中で、都市福利施設の整備と街なか居住の推進というものを掲げられていますが、高齢化社会は確実に到来しますし、利便性の向上を図るという意味においても大切な施策だと考えますので、徳山地区においてはそういう部分に重点的に力を入れ、まちの活性化を図っていただきたいと思います。

それから、高齢者を地域で支える体制づくりで、要介護状態になっても住みなれた家庭や地域で暮らせるように高齢者の生活を地域で支える取り組みを進めるということが掲げられていますが、どのように支援体制を作っていくのか、構想等があればお聞かせいただきたいと思います。

議長 徳山地区地域審議会としては、教育の問題、地域とのつながりの問題、観光資源をどう生かすかといったこと、それから高齢者の問題、そういう面についてもう少しあたたかみのある施策を考えていただくということでいかがでしょうか。各委員さんが言われたことを踏まえて、出来る限り後期計画の中に取り入れていただければと思います。

事務局 ご意見については、総合計画審議会の方にご報告させていただきます。また、議長さんには、総合計画審議会委員として地域審議会を代表して出ているので、そちらの方でご意見をいただけたらと思います。

委員 安心・安全の一番最初に災害や危機への管理というのがありますが、是非、9月1日の防災の日に全市的な避難訓練を実施していただきたいと思います。

事務局 去年は菊川地区、一去年は桜木地区の自主防災組織で防災訓練を実施しました。今年は、県の防災訓練を兼ねて、8月30日に東ソーグラウンドで訓練を実施しますので、是非そちらの方に参加していただければと思います。

それから、先に徳山地区地域審議会からの合併検証を兼ねた提言というのをいただいています。全体的な事項としては選択と集中によって事業を進めてもらいたいということ、合併特例債等の有効な財源を十分活用してもらいたいということ、それから優先順位を明確にして事業を実施してもらいたいということをご提案いただいています。また、個別優先事項として、安心安全に係わる事業を確実に進めてほしいということ、中心市街地の整備に係わる事業についても進めてほしい、それから防災拠点としての市の庁舎建設についてもお考えいただきたいというご意見をいただいていますので、審議会からの意見も可能な限り取り込んで、後期基本計画を作成していきたいと思います。

議長 ありがとうございます。総合計画審議会の方で皆さんのご意見が表せるように努力したいと思います。

(2) 今後の審議会の運営について

議長 今期の審議会の委員の任期が9月末で終わりますので、今後の日程についてお考えをお願いします。

事務局 《事務局から今後の進め方等について説明した後、意見交換》

議長 では、7月の末頃に一度部会を開くということをお願いしたいと思います。どうも皆さんありがとうございました。

5 閉 会